源流へ

語る上州人

17歳、境で代用教員に

画家　正田壌さん⑥

ある夜、正田さんの住む九万年十一月、爆撃機のB29が初めて偵察のため太田から見る東の空が、昼間のように明るかった。米軍機から投下された焼夷弾が燃え盛る市街地を機銃掃射する目的で落とす照明弾のためだ。太平洋戦争末期、敗色濃い日本国内に米軍は容赦ない空襲を加えた。

太田は中島飛行機のま機による重爆撃を含め七回も繰り返された。

標を誇った小泉士郎もあった。戦略爆撃のターゲットとして、米軍が見逃すはずがない。一九四四（昭和十九）年十一月、爆撃機のB29が初めて偵察のため太田から見る東の空が、昼間のように明るかった。米軍機から投下された焼夷弾が燃え盛る市街地を機銃掃射する目的で落とす照明弾のためだ。太平洋戦争末期、敗色濃い日本国内に米軍は容赦ない空襲を加えた。

太田は中島飛行機のま機による重爆撃を含め七回も繰り返された。

当時、「東洋一」の規模